

K.K.さん（女性）県内大学
内定先業種：建設業

内定者の声



【就活データ】

インターンシップ参加・・・5社

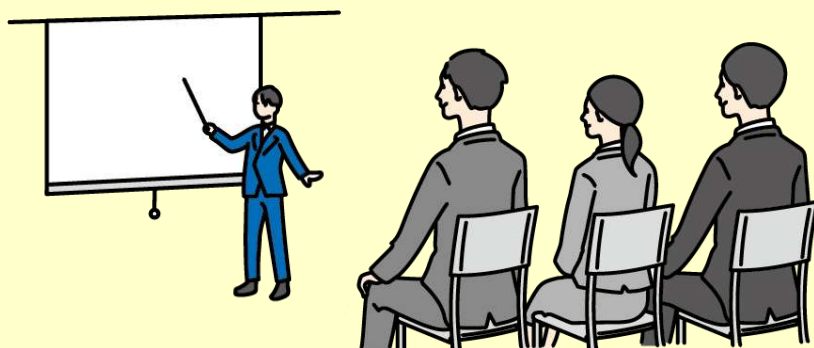
説明会・合同企業説明会参加回数・・・40回くらい

就活を始めた時期・・・令和7年3月頃から

ES・履歴書提出社数・・・7社

面接社数・・・6社

内定社数・・・1社



【キャリアセンターで利用したサービス】

<利用サービス>

- ・就職相談（応募書類添削、面接練習含む）

<良かった点>

相談を通してお話しすることで、ふわっとしていた自分の考えや想いが言語化できるようになりました。また、自己分析を1人で行うより深めることができ、もっとはやく利用していればよかったなと思います。書類添削や面接練習では、自分が何を伝えたいのかを大切に、実際にどのように伝わっているのかフィードバックをもらうことができました。

回答の仕方においても質問ごとに改善点を教えていただきながら、自分が伝えたいことをベースに練習を行ってくれるので、面接本番で自分の考えを伝えることができるようになりました。

【どのように就活を進めましたか？】

大学2年生の春休みに初めて合同説明会に参加し、3年生になってからは空いてる時間に単独説明会にたくさん参加するようにしました。私は業界を絞れていなかったで、夏休みなどの長期休暇には、説明会を聞いていいなと思った会社をメインに業界を絞らずにインターンに参加しました。実際に業務を体験する中で、自分はなにが好きで、なにが嫌なのか探すようにしました。その際に行われる座談会やオフィス見学会は、その後の選考の中で志望理由やキャリアプランを話す場面でとても参考になりました。

その後も業界を絞るのに時間がかかり、大学3年の2月頃に少しずつどのような仕事をしたいか絞りながら、3月の就活解禁に合わせて志望理由や自己PRなどを少しずつ考え始めました。4月以降は、キャリアセンターの就職相談サービスを利用し、書類作成と面接練習を行いました。



【就活で苦労したこと／工夫したこと】

<苦労したこと>

書類作成と面接の受け答えに苦労しました。書類作成では、自分がなぜその企業に魅力を感じているのか、なぜそう考えるのかなど、自分の考えや大切にしている価値観など過去の経験をもとに志望理由などを作成することが難しかったです。また、面接の受け答えでは、話す時間が限られているので、自分のことを知らない面接官にどのように話したら伝えられるのか難しかったです。



<工夫したこと>

1人で進めるのではなく、学校やキャリアコーチ、友人などに相談しながら進めるようにしました。書類の添削や面接練習をお願いすることで、自分の伝えたいことが相手に伝わる内容になっているのかを確認し、修正することができました。特に、苦戦した書類作成ではキャリアコーチとお話ししながら進めることで、自己分析も深めたうえで、自分の思いをのせた書類を作成することができました。

また、はじめての就活で不安が多くあり苦しい時間があったので、できるだけ抱え込まずに相談することで気持ちを立て直したりしました。友人やキャリアコーチなど誰かと一緒に就活を進めることで、自分のモチベーションも高めることもできました！

【内定をもらった企業に決めた理由】

自分の思いと重なり、性格や強みを活かしながら働ける企業だと感じたからです。私はアルバイトの経験から、人を支える仕事に携わりたいと考えていました。

支える仕事がたくさんある中でも、企業説明会やキャリアコーチとお話する中で、毎日を支えるサービスを提供する企業をも支えることができ、支える幅が広いインフラに携わりたいと、自分の中でやりたいことを見つけることができました。

そして、その思いを実現できる内定をいただいた企業に決めました。また、職場に相談のしやすい環境があることが自分の働きやすさにつながると考えたので、その環境がある点にも魅力を感じました。



これから就活をする方／就活中の方へ一言！

周囲と比較してしまい焦り、不安を感じるときもあるかと思いますが、1人で悩むよりもキャリアコーチや周囲の方に些細なことでも相談することで、焦りや不安とうまく向き合いながら、ありのままの自分を大切にアピールできると思います。たくさん周囲の方に頼りながら、頑張ってください!!

